

## お知らせ

### 1. 参加登録受付

#### 【オンライン参加登録】

オンラインでの参加登録を推奨しております。大会ホームページ (<https://jda123.jp/>) よりお手続きください。

\* 賛助会員は現地での参加登録は出来ません。必ずオンラインで参加登録を行ってください。当日現地にて参加登録をご希望された場合もオンラインでの参加登録を行っていただきます。法人賛助会員は1社2名まで、個人賛助会員は1名のみ適用されます。

会期中に開催されるスタンプラリーへ参加を希望される場合は、必ず、オンライン参加登録を行ってください。スタンプラリーの詳細はP. 1005をご覧ください。

#### ■会期当日、オンライン参加の場合

登録完了のお知らせメールまたは参加登録入金確認のご連絡メールに記載の聴講用 ID/パスワードが必要となります。必ず印刷してお手元にご準備ください。

#### ■会期当日、現地へご参加される場合

[会員の場合]

日本皮膚科学会の会員証をお持ちください。発券機に会員証をかざしていただきますと、印字されたネームカードが発券されます。

[賛助会員・非会員の場合]

参加登録時に発行される QR コードをご持参ください。発券機に QR コードをかざしていただきますと、印字されたネームカードが発券されます。

会場内ではネームカードを必ず着用ください。参加証の郵送などはございません。

#### 【当日参加登録】

参加登録受付を下記の場所・時間にて行います。

#### ■国立京都国際会館 本館 1F メインロビー

6月6日(木) 8:00~18:00

6月7日(金) 6:45~18:00

6月8日(土) 7:30~19:00

6月9日(日) 7:30~14:00

\* 各日受付時間が異なりますので、お間違えのないようお願いいたします。

\* 時間外の受付はお受けできませんので、ご注意ください。

自動発券機または受付窓口にて下記の参加費をお支払いいただき、参加証(領収書兼用)をお受け取りください。会員の方は、会員証による会員認証を行いますので、会員証を必ずご持参ください。自動発券機では現金および IC チップ付クレジットカード (Visa, Master のみ ※暗証番号必須) がご使用になれます。下記2) に該当する方は証明書確認のため受付窓口へお越しくください。

1) 一般会員：20,000 円

\* 賛助会員 (法人・個人) はオンラインでの受付のみとなります。

2) 学生、留学生、研修医 (前期)<sup>\*1</sup>、大学院生<sup>\*2</sup>：15,000 円 (要証明書)

※1 研修医 (前期) でお申し込みをされる場合、学会ホームページより研修医証明書をダウンロードの上、お持ちください。

※2 大学院生であっても会員の場合は会員登録をお願いします。

3) 非会員 (企業関係者)：40,000 円

- 4) 非会員（その他）：25,000 円
  - 5) 皮膚疾患ケア看護師の資格取得者：3,000 円
  - 6) 同伴者：3,000 円（参加会員の配偶者，展示会場，懇親会，デルマトオーケストラに入場できます。）
  - 7) 名誉会員：無料（事前に事務局よりご招待参加証をお送りいたします。）
- \*会期中は必ず参加証をご着用ください。参加証を着用されていない方の入場はお断りいたします。  
\*参加費には法人管理費が含まれます。

## 2. プログラム抄録集

会員には事前配布しています。会場で購入される場合は，国立京都国際会館 本館 1F メインロビー 総合案内にて 1 部 2,000 円で販売いたします。

## 3. 専門医後実績

- ・機構専門医制度による後実績単位を取得する方は（A）会員証をご持参，または（B）皮膚科専門医総合システムにログイン（QR コード受付）の準備をしたうえで，単位が認められている教育講演などの会場前で開始時間 30 分前から開始後 15 分以内に受付手続きをしてください。

（A）会員証の場合：会員証をカードリーダーにかざして受付

（B）QR コードの場合：受付で QR コードを読み込み受付

皮膚科専門医総合システム URL：https://uketsuke1.dermatol.or.jp/

皮膚科専門医総合システム QR コード →

ID およびパスワードを入力する。

\*ID・パスワード：日本皮膚科学会会員専用ページと同様

対象セッションは日程表（P. 1028～P. 1035）でご確認ください。



受付時間外は，後実績登録はできませんのでご注意ください。

共通講習単位をオンラインで聴講される方は，Live 配信の受講のみでは単位取得とはなりません。

会期後行われる E-learning にて，e-test を受けていただき，一定以上の正答を得ていただければじめて単位が認定されることとなりますので，ご注意ください。なお，共通講習単位を現地で聴講される方は，上記の e-test は不要です。共通講習対象のセッションは教育講演 17（医療倫理），教育講演 48（医療安全・感染対策）です。

- ・学会制度による専門医後実績の受付時間は，下記の通りとなります。受付時間外は，後実績登録はできませんのでご注意ください。

受付時間 6 月 6 日（木）8：00～17：50 / 6 月 7 日（金）6：45～17：10

6 月 8 日（土）7：30～17：20 / 6 月 9 日（日）7：30～12：00

※上記時間内に受付をした方に，後実績 20 単位を付与します。

### 【顔写真付き会員証の方】

- ・学会制度による専門医後実績受付時間内に自動発券機で受付した場合，同時に登録となります。発券された総会参加証をご確認ください。
- ・学会制度による専門医後実績受付時間外に自動発券機で受付した場合，専門医後実績は登録されておりませんので，日本皮膚科学会事務局専門医後実績受付に専門医後実績受付時間内にお越しの上，登録手続きをしてください。

### 【顔写真のない会員証の方】

- ・自動発券機での受付は総会の受付のみとなり、専門医後実績は登録されておりませんので、日本皮膚科学会事務局専門医後実績受付に専門医後実績受付時間内にお越しの上、登録手続きをしてください。

### 【会員証を忘れた方】

- ・機構専門医制度による後実績の場合、総会の参加受付をした後、いずれかをご選択ください。

- A. ご自身の携帯電話で単位受付ができ、翌日以後に単位反映されます。  
以下の手順にて総合システムにログインし、各会場入口にてパソコン画面に表示されているQRコードを携帯のカメラ画面で読み取る。

<手順>

1) 日本皮膚科学会ホームページより皮膚科専門医総合システムにログインする  
皮膚科専門医総合システム URL：https://uketsukel.dermatol.or.jp/

皮膚科専門医総合システム QR コード →



2) ID およびパスワードを入力する。

\*ID・パスワード：日本皮膚科学会会員専用ページと同様

3) 各会場入口にてパソコン画面に表示されている QR コードを携帯のカメラ画面で読み取る。

4) 携帯画面で、講習会受付が完了した表示であることを確認する。

- B. 日本皮膚科学会事務局専門医後実績受付にて仮会員証を発行いたします。

日本皮膚科学会事務局専門医後実績受付に仮会員証の発行を依頼してください。各会場前でカードリーダーにて受付後、参加証を受け取ってください。

\*お帰りの際は、日本皮膚科学会事務局専門医後実績受付の回収BOXに仮会員証のご返却をお願いいたします。

## 4. 当日のLive配信について

当日、現地（国立京都国際会館、ザ・プリンス 京都宝ヶ池）にお越しいただけない場合でも、ご自宅やご所属先にてオンラインで学会にご参加いただけます。会期中は、日程表と同日・同時刻にご講演内容を配信させていただきます。本大会では、後述する電子抄録サービス（MICEnavi）と連携して、LIVE配信を閲覧していただけます。下記手順をご覧ください。

- 1) 大会ホームページの「WEB配信視聴 MICEnaviアプリはこちら」をクリック
- 2) 電子抄録サービス（MICEnavi）の入口が表示されます。お進みいただき、日程表から開催中のセッションをクリックするとセッション詳細画面が表示されます。
- 3) セッション詳細画面の「LIVE」ボタンをクリックします。
- 4) 登録完了のお知らせメールまたは郵送しました参加証（ネームカード）に記載の聴講用IDでログインします。（最初の1回のみ）
- 5) Live配信をご覧いただけます。

**\*後実績単位の認定には下記の視聴ログが必要です。**

クリックを忘れないようご注意ください。

【セッション前】「入室」をクリックし、動画の再生ボタンを押す。

【セッション終了時】「退室」をクリックし、ログをつける。

**\*共通講習単位は上記の視聴ログに加えて、会期後行われるE-learningにてe-testの受講が必要です。**

- 6) 視聴ログはご自身のページでご確認いただけます。

\*対象は演者および共催企業の許可をいただいたセッションとなります。詳しくは大会ホームページよりご確認ください。

### 【オンライン参加時の専門医後実績単位について】

専門医後実績の単位はLive配信映像の聴講ログにより行います。上記の参加方法をご確認の上、必要なセッションを聴講ください。

#### ●機構認定専門医及び機構認定専門医に移行期間中の方へのご案内

聴講単位が認められている教育講演などの視聴をもって単位取得とします(対象セッションは日程表でご確認ください)。セッション開始～終了までの聴講記録が確認できた場合、会期後2か月以内に単位を登録します。後程、ご自身のマイページにてご確認ください。

※横並びのセッションについては、同時に単位取得はできません。現地にご参加されつつ、同時に別会場のLive配信をご覧いただいている場合も同様ですので、ご注意ください。また、複数デバイスで聴講を行い、同時刻の横並びのセッションで聴講ログが確認された場合、若いセッション番号の方で単位付与を行います。

※なお、本大会で取得できる単位の上限は1日目5単位、2日目6単位、3日目5単位、4日目4単位です。

#### ●学会認定専門医の方へのご案内

1講演以上のセッション開始～終了までの聴講記録が確認できた場合、会期後2か月以内に20単位(後実績)を登録します。後程、ご自身のマイページにてご確認ください。

## 5. E-learning について

本総会の教育講演は、E-learningとして、講演の録画映像を会期後、日本皮膚科学会ホームページの会員ページに掲載いたします。大会に参加された方は、日本皮膚科学会会員ページにログインの上、参加証に記載のID・パスワードにてご利用ください。大会に参加されていない方でE-learningの視聴をご希望の場合には、会期後大会ホームページの「E-learningのご案内」からお申込をいただけますようお願いいたします(有料)。

公開期間：2024年7月23日(火)12:00～2025年3月31日(月)17:00

## 6. 実技講座について

\*下記の講座は事前登録制となっております。詳細は学会ホームページをご確認いただき、お申込みください。(全て有料プログラム(1講座5,000円)となります。)

セッション番号	セッション名	開催日時	会場	席数
ETS1	『皮膚病理』「メラノサイト系腫瘍」	6月6日(木) 14:10～16:10	第7会場	100席
ETS3	『皮膚病理』「軟部腫瘍・メルケル細胞癌」	6月8日(土) 9:10～11:10	第7会場	100席
ETS2	『ダーモスコピー』①	6月7日(金) 9:10～11:10	第7会場	100席
ETS6	『ダーモスコピー』②	6月9日(日) 9:10～11:10	第7会場	100席
ETS4	『皮膚外科』ベーシックコース	6月8日(土) 8:45～11:25	第14会場	40席
ETS5	『皮膚外科』アドバンスコース	6月8日(土) 13:30～16:10	第14会場	40席
ETS7	『パッチテスト・プリックテスト』	6月9日(日) 14:00～16:00	第14会場	24席

教育実習セミナー『ダーモスコピー』の①と②の内容は同じです。

教育実習セミナー『皮膚外科』のベーシックとアドバンスの両方を受講することはできません。

締切日前であっても定員に達し次第締め切らせていただきます。また締め切り後も、当日お席に余裕があれば受け付けます。直接、会場前へお越しください（立ち見不可）。該当プログラム開始 20 分前より、会場前にて受付をいたします（有料）。ただし、当日登録による入場の場合、単位の付与はございません。

詳細は P. 1402～1407 をご参照ください。

\*実技講座 ETS1～ETS6 については単位の付与がございます。

〈機構認定専門医制度/前実績（選択）：1 単位，後実績：1 単位・学会認定専門医制度/前実績（選択）：2 単位，後実績：2 単位を付与〉

ETS7 については共催セッションの為、単位の付与はございません。

## 7. 研修講習会 必須（総会）

6 月 9 日（日）9：20～13：20

WEB 開催（オンライン開催につき、会場内での開催はありません）

当日のお申し込みはできかねますのでご注意ください。

※日本皮膚科学会への事前申込者のみ参加できます。

※事前申込みは 4 月 8 日（月）に締切らせていただきました。

## 8. スポンサーセミナー

モーニングセミナー・ランチョンセミナー・イブニングセミナー：料飲をご用意します。

会期中の全日程で、ランチョンセミナーは、弁当券制となります。

弁当券は、当日のランチョンセミナーのみ下記のとおり配布します。抄録アプリからのお申し込みも可能です。詳細は、5 月中旬に発行いたします。アプリ内のご案内にてご確認ください。

弁当券配布場所：国立京都国際会館 本館 1F メインラウンジ

弁当券配布日時：6 月 6 日（木）8：00～10：45（アプリ 9：00～10：45）

6 月 7 日（金）6：45～11：40（アプリ 7：45～11：40）

6 月 8 日（土）7：30～10：55（アプリ 8：30～10：55）

6 月 9 日（日）7：30～12：20（アプリ 8：30～12：20）

\*セミナー毎に発券の限りがございますので、予めご了承ください。

\*配布時間終了後は、直接各会場までお越しください。各セミナーでお弁当に余りがある場合にはお弁当をお渡しいたします。

\*弁当券は、セミナー開始後 5 分で失効いたしますのでご注意ください。

## 9. 電子抄録サービス（MICEnavi）

演題検索やスケジュール登録ができる電子抄録サービス（MICEnavi）をご利用いただけます。

パソコンでご利用いただける Web 版、スマートフォンや iPad でご利用いただけるアプリ版があります。

アプリ版はポケットプログラムとしてもご利用いただけますので、ぜひ、ご自身のスマートフォン、タブレットへ事前にダウンロードの上、会場にてご利用ください。参加者アンケートもあります。是非、ご協力ください。

抄録の閲覧にはパスワードの入力が必要です。

パスワードは日本皮膚科学会雑誌第 134 巻第 5 号臨時増刊号 1002 ページに記載しております。

○Web 版 総会ホームページ (<https://jda123.jp/>) よりご利用いただけます。

○アプリ版 MICEnavi アプリから、本学会のプログラム情報を検索・閲覧できます。

#### <利用開始方法>

- ① Apple App Store, Google Play から「MICEnavi」を検索し、ダウンロード、インストールしてください。
- ② MICEnavi 内で「皮膚科学会」または「JDA2024」などと検索し、プログラム情報をダウンロードしてください。

- ・公開予定日：2024 年 5 月中旬
- ・利用料：無料（アプリのダウンロードには別途通信料が発生します。）
- ・対応機種：iOS：14.0 以降. iPhone, iPad に対応.  
Android：7.0 以上. スマートフォン, タブレットに対応.

※Web 版, アプリ版のそれぞれでご登録いただいたスケジュール内容は相互に同期することが可能です。

## 10. その他

### 1) コングレスバッグ

企業展示会場（国立京都国際会館 別館 1F イベントホール）内にて、先着 4,000 名の方にお渡しします。会場にお越しいただいた参加者に優先配布をいたしますが、残が出た場合には、参加登録の先着順に、会期後郵送させていただきます（会場への参加者は除く）。

配布時間 6月6日（木）9：00～18：00 / 6月7日（金）9：00～17：30  
6月8日（土）9：00～17：30 / 6月9日（日）9：00～14：00

### 2) ドリンク・スイーツコーナー

企業展示会場（国立京都国際会館 別館 1F イベントホール, 本館 1F アネックスホール 1）内に、ドリンク・スイーツコーナーを設置いたします。数に限りがありますので、なくなり次第終了とさせていただきます。

設置時間 6月6日（木）12：00～18：00 / 6月7日（金）9：00～17：30  
6月8日（土）9：00～17：30 / 6月9日（日）9：00～14：00

充電スポットも併設していますので、ご利用ください。

### 3) 企業展示

国立京都国際会館 別館 1F イベントホール, 本館 1F アネックスホール 1 にて下記お時間に行います。

設置時間 6月6日（木）12：00～18：00 / 6月7日（金）9：00～17：30  
6月8日（土）9：00～17：30 / 6月9日（日）9：00～14：00

### 4) 書籍展示

国立京都国際会館 別館 1F イベントホールロビー, 本館 1F ロビー各所にて医学専門書の展示販売を行います。

### 5) クローク

下記要領で設置します。

国立京都国際会館 本館 1F Room F, G, 既設クローク  
ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B2F 既設クローク

お預かり時間 国立京都国際会館クローク

6月6日(木) 8:00~19:20 / 6月7日(金) 6:45~19:40

6月8日(土) 7:30~21:30 / 6月9日(日) 7:30~16:30

ザ・プリンス 京都宝ヶ池クローク

6月6日(木) 8:00~16:30 / 6月7日(金) 8:30~11:40

6月8日(土) 8:30~18:50 / 6月9日(日) 7:30~17:00

## 6) 記念写真撮影

6月7日(金) 15:25より, 国立京都国際会館 1F メインホール (第1会場) で行います。

## 7) 質疑をされる皆様へ

発言は全て座長の指示に従い, マイクを用いて, 所属・氏名を述べてから行ってください。

## 8) 写真撮影

講演会場, ポスター会場におきまして写真撮影・動画の撮影または録音等は, 著作権保護および個人情報保護の観点から全面的に禁止させていただきます。ただし, 事前に運営事務局 (E-mail: [jda2024@dermatol.or.jp](mailto:jda2024@dermatol.or.jp)/公益社団法人日本皮膚科学会内) へ申請されて許可を得た方に限っては撮影・録音・録画等を認めます。

## 9) マスコミ対応

会場内における取材に関しては, 会頭の事前の許可を必要とします。

当日のお申込みは受け付けません。

## 10) 会員証

学会に参加される会員の方は, 必ず会員証をご持参ください。

## 11) 駐車場

普通車 1回 24時間 1,000円

\*無料券, 割引券の取り扱いは行っておりませんので, ご了承ください。

## 12) インターネットについて

国立京都国際会館内, ザ・プリンス 京都宝ヶ池館内では, フリー Wi-Fi のご利用が可能です。

国立京都国際会館: SSID ICCK\_Public\_WiFi パスワードはありません。

ザ・プリンス 京都宝ヶ池: SSID PRINCE-HOTEL パスワード welcomeph

## 13) 自動翻訳システムについて

本大会では, 初めての試みとして, スポンサーセッション以外の海外の講演者の講演に, 自動翻訳システム (ポケットーク) を導入いたしました。(本誌日程表に「ポケ」マークがついているセッション)

ご自身のスマートフォンで, 講演の翻訳を見たり聞いたりすることが可能です。

スマートフォンで, 会場前に設置の「ポケットーク用」のQRコードを読み取ってログインしてください。なお, 翻訳を聞きたい場合には, ご自身で, スマートフォンに対応するイヤフォンをご持参ください。

## 11. 123 回総会特別企画

### 1) スタンプラリーのご案内

大会期間中、大会の抄録アプリ（MICEnavi）から、スタンプラリーにご参加いただけます。

大会で指定された17の講演から4講演（本誌日程表に「ポケ」マークの付いている講演）と、スタンプラリーに参加している企業展示（大会当日、現地で配布するポケットプログラム参照）を8個回ってスタンプを集め、全てのスタンプを集めたら、総合受付内の「スタンプラリー窓口」へお越しください。

先着300名様に参加賞をお渡しします。また、スタンプラリー参加者の希望者には抽選で、iPad、ダモスコピーなどの豪華景品をプレゼント！（抽選は会期後、賞品も後日発送となります。）

なお、スタンプラリーに参加を希望される場合、学会への参加登録は、オンライン参加登録を行っていただく必要がございますので、ご注意ください。

また、スタンプラリーに参加された場合は、訪問した8社の展示企業には、お名前・ご所属・メールアドレスの情報が開示されます。予めご了承ください。

### 2) 山中教授、梶島教授と一緒に走ろう！

6月9日（日）朝、宝ヶ池の周辺2周、約5キロのコースで早朝ランニングを楽しみましょう。

ノーベル賞の山中伸弥教授も一緒にいただけます。

集合時間：6月9日（日）AM 6：55 / 出発 AM 7：00

集合場所：ザ・プリンス京都宝ヶ池 1F ロビー

参加者には記念品をご準備しています。

自由参加です。当日は、走りやすい服装でお集まりください。

### 3) デルマトオーケストラ演奏会

6月8日（土）18：40より国立京都国際会館 1F メインホール（第1会場）にて行います。



## デルマトオーケストラとその合唱団、第九への道

戸倉新樹 デルマトオーケストラ代表  
中東遠総合医療センター

スポーツが好きな医師が多いように、音楽に興じている医師も多い。それぞれ、医業では使わないフィジカルな動きを楽しみ、一方、情感を喚起する知能・知性を表現する。それによって診療・研究にも好影響を与えるという面もあるかもしれない。理由付けはいろいろあろうが、要するに好きで、やりたいのである。私も音楽好きで、寄る年波には勝てないが今でもフルートを吹く。

皮膚科医によるオーケストラを企画したのは2015年である。実はこのようなことをやりたいとかなり以前から考えていたが、実行に移すとすると巨大なエネルギーや幾ばくかの費用が要り、躊躇していた。契機は2016年に、この企画にとってちょうど良い規模の学会を浜松で主催させて頂いたことである。私自身も相当の年齢になり、自分なりに皮膚科学への貢献もし、多少のハメを外してもしかめ面をする方はそうはおられないだろうと予想し、思い切った。皮膚科医のオーケストラに拘るのは、個と全体からなるオケ活動が、日本の皮膚科全体にも良い影響を与えると確信したからである。加えて浜松は音楽の町、楽器の町であるし、音楽を特に美化する環境もある。さらに学会に合わせてアクトシティ大ホールも借りることができ、最高の環境と舞台を得た。

このオーケストラは「デルマトオーケストラ (Dermato-Orchestra)」と名付けた。日本国内だけではなく海外にも通用し、英語で書かれても大丈夫なような名前を考えた。欧米では文化活動を評価する。将来的に海外の皮膚科医にもこのオーケストラの活動とCDが広まり、日本の皮膚科への皮膚科学そのものだけでなくその他の業績としての高評価も期待した。この目論みは、現時点で成功したと思っている。

さて、その2016年の第1回デルマトオーケストラ演奏会は、第80回日本皮膚科学会東部支部学術大会の文化活動として浜松で実現させた。当初、日本列島の東半分で活躍する皮膚科医によるオーケストラ演奏を目指していた。しかし実際は、北海道から鹿児島まで、全国の皮膚科医が集まって下さった。問題は事前の練習である。個々人の練習時間を確保することも重要であるが、全体練習は必須である。こうした練習時間の問題は、集中力で乗り切れるしかないとは言え、簡単ではなかった。掻き入れ時は演奏会前日である。金曜日に仕事を終えたメンバーが各地から浜松に集結し、17時ごろから夜遅くまでシューベルトの交響曲第5番などを練習した。私はフルートを吹いたが、学会長としての仕事も多々あり、前日練習には余り参加できなかった。楽団員の多くは必死にリハーサル室で練習していたのである。ホルンを吹いた某教授は、翌日、口唇を腫らしていた。

さらに味をしめて、2018年に第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会の文化活動として、第2回デルマトオーケストラ演奏会を、浜松アクトシティ中ホール（コンサートホール）で行った。メインの曲は私が大好きなブラームスの第2番交響曲を選んだ。美しい旋律と和音が、我々を別世界に誘ってくれる曲であり、最後の圧倒的なクライマックスは高揚の極みであった。

オーケストラは奏者それぞれの技量はもちろん重要だが、数十人から、さらに曲によっては百人近くの集団が一丸となって同じ目的に向かうために、主張だけでなく譲歩が要る。そもそも個々人が描いている音楽の理想も違う。たとえアマチュア集団であっても、この個性と調和は真剣であればあるほど解けない課題となる。それでも「やりたい」、「成就したい」と思うのは、対象が音楽であってヒトの感性の最も高いところにあるハイな瞬間と一緒に味わうことができるからであろう。その瞬間は集団性を無防備に受け入れる。

この2回の演奏会の実現に当って、浜松医大の同級生でそれぞれ別の仕事場で皮膚科医として活躍されている柳生理映子、吉田亜希、福永有希の各先生に幹事として大変ご尽力を頂いた。一応私の教え子であるが、師弟ともにその実態感は無。オケで初めてお互いの存在を認識した。彼女たちが居なければデルマトオーケストラは実現することは無かった。私がどれくらい心から感謝しているか、胸を開いて見せたくらいである。もちろん全国から集まって下さった皮膚科医の方々、その他の医療関係者、賛助出演頂いている何人かの方々、そして指揮者として演奏をまとめて下さった岡輝明先生（当時関東中央病院病理）

の献身的貢献にも心より感謝の意を表したい。実は2回とも、第一ヴァイオリンの後列に Soon Shim Han さん（ソウル大学皮膚科 Cho 名誉教授の奥様）が加わってくれた。彼女は、韓国 KBS 交響楽団の団員をつい最近まで勤めた。彼女を呼ぶために Cho 教授を座長として招請したのであるが、その魂胆は Cho 先生にバレていた。

さてこの2回目の演奏会の後、3回目をどうするかという話が当然自然発生的に湧き出た。私が即座に言ったのは、これ以上やるならベートーヴェンの第九しかないでしょう、という冗談的本気だった。実際行動に移すとすると、途轍も無くハードルが高い。第一に合唱団とソリストが要るので、それも組織しなければならない。2年の間隔を堅持すると2020年が演奏会の日になる。第九ならターゲットとする学会は日皮会総会しかあるまい。そこで既に会頭に決まっていた慶應義塾大学天谷雅行理事長に打診した。すぐご快諾いただいた。これで出来る。後先のことは余り考えず、兎にも角にも号令を掛けて前進しよう、と考えた。しかし流石に第九となると前述の3名の常任幹事も不安一杯だった。当初、合唱団についてはカオス状態であったが、核になる人物とコーラスグループが現れた。けいゆう病院の河原由恵先生が神奈川県皮膚科医会で合唱の活動をされておられるという。そこで彼女に頼み込み合唱団が作られた。その経緯と構成メンバーについては、河原先生の文章をお読みいただきたい。

この2020年に企画した第九演奏会は、直前になって大きな障害により中止になった。新型コロナウイルスのパンデミックである。それから毎年、今年こそ演奏会をという思いであったが、実現は2024年になってしまった。この4年間の維持は難しく、結局今回、3楽章と4楽章のみの演奏となった。特に合唱団の発展と維持は難しく、河原由恵先生に加えて佐藤佐由里先生に絶大な力を尽くしていただき、梶島健治会頭のご理解を得て、開催の運びとなった。様々の方々に感謝を申し上げたい。

ご参加の皆様には是非、第九演奏会を楽しんでいただければと願う次第である。

河原由恵 デルマトオーケストラ合唱団  
けいゆう病院

2回の学会演奏会にて大成功を収めているデルマトオーケストラに、合唱が加わることになったのは2018年秋のことでした。2020年総会に華やかな色をそえる、ベートーベン交響曲第九番、「第九」での共演です。神奈川県皮膚科医会で皮膚科医の合唱団を結成して活動したことがご縁で、全国の皮膚科医による合唱団立ち上げという大役のご指名を頂きました。一人ではとても務まらないため、音楽にご造詣が深い山王病院の佐藤佐由里先生にも合唱団幹事をお願いしました。

「第九」第四楽章「歓喜に寄せて」の合唱に参加すること、これは歌好きの人間なら一度は憧れる舞台ではないでしょうか。数回の学会におけるメンバー公募等を経て、最終的に皮膚科医中心に約80名が全国から参集されました。現在も合唱団活動をしている先生、学生の頃に「第九」経験がある方から「第九」さらには「合唱」が初めての方々まで様々な経験値のメンバーです。多忙かつ勤務地が広域にわたる先生方ですから、集まっての練習はなかなか難しいところがありましたが、各自 YouTube や練習用 CD で音取りをし、練習に臨みました。各地で開催される「第九を歌う会」等へ参加した先生もいます。東京地区では、プロの音楽家お二人（指導：奥村伸樹先生、ピアノ伴奏：早川枝里子先生）による合唱のみの練習も開催しました。また、医療従事者中心に構成された「洛和会京都混声合唱団 ハモリス」より19名の方々が賛助参加下さることとなり、京都での練習も行いました。初めの頃は音を拾うのが精一杯で先行き不安なメンバーも多かったかもしれませんが、「歓喜に寄せて」の合唱歌いだしのメロディーは有名ですが、合唱部分全体は音域が広く音の強弱、長短についても技術を要する難曲です。しかし、歌詞のもつ意味や背景の解説もして頂き、理解も深めながら繰り返し歌いこむうちにハーモニーがまとまりだんだんと「音楽」が出来上がっていきました。そして2020年2月、新型コロナ蔓延予兆の暗雲立ちこめる中、オーケストラとの合同練習初回に臨みました。たった30分ほどの協奏でしたが、心の奥底から感動を覚えた記憶があります。しかしその後は…コロナ禍でもっとも活動が制限されたことの1つが歌うことです。2021、22年も抜粋版演奏できないか、など模索しましたが、結局合唱団活動はできませんでした。そして新型コロナが

5類になったのを機に、ようやく晴れて演奏にむけての活動を再開しました。ハモリスさんに加えて京都大学医学部合唱団関係の皆様のサポートも得ました。3年の間に状況がかわりご参加できなくなった先生もいるため、当初より少し少ないメンバー構成ですが、各人の熱い思いでカバーしております。

2020年はベートーベン生誕250年でしたが、2024年は第九初演200年にあたる年とされています。2022年の戦争勃発、そして新型コロナの収束がみえてきた中、本年初頭に能登地震が起こり、多数の人々が未だ困難な中ですごしています。4年の歳月を経てようやく実を結ぶこととなる、オーケストラ、4人のソリストと合唱団が響かせる“An die Freude”が、いろいろな思いとともに広く皆様の心に届けば嬉しく思います！

## 国立京都国際会館での「第九」演奏会

佐藤佐由里 デルマトオーケストラ ステージマネージャー  
山王病院 皮膚科

2020年の総会で想定されていたデルマトオーケストラの「第九」。  
直前での中止、その後の団員の想いは戸倉先生・河原先生が書かれた通りです。

日常の診療や生活に突然飛び込んできたコロナウイルス感染拡大。演奏や合唱練習どころではありませんでした。毎日が院内感染対策・陽性患者さん対応のみならず、自身や家族の健康確認に追われる3年間でした。

でも、心のどこかに、「いつか必ず！」という灯は残っていました。

2021年以降もデルマトオケは、総会の際現地に集まれる小編成のメンバーで演奏会を行いました。練習の回数も少ないなか、これまで培ってきた一致団結力で本番を迎えました。現地で、あるいはWEB上で聴いてくださった方々から、感動したとコメントをいただきました。

限定された条件下で、演奏会を支えてくださった総会主幹大学・日本皮膚科学会運営事務局のスタッフの皆様、聴いてくださった方々に心より感謝申し上げます。

合唱メンバーは、デルマトオケが活動を続けていることで灯を消すことなく待ってられました。

我々の「第九」は、国立京都国際会館での初演になるそうで、会館の歴史の1ページを飾ります。初演に恥じない演奏をしたいと思います。今回も京都大学皮膚科学教室と日本皮膚科学会総会運営事務局の大勢の皆様にご協力いただいております。ステージ上だけでなく、ステージ周りの多くの方々の想いも乗せて歌い、演奏したいと思います。

学会に参加される皆様にも「聴いて良かった！」「元気が出た！」と書いていただけるようにがんばりますので、どうぞよろしく願いいたします。